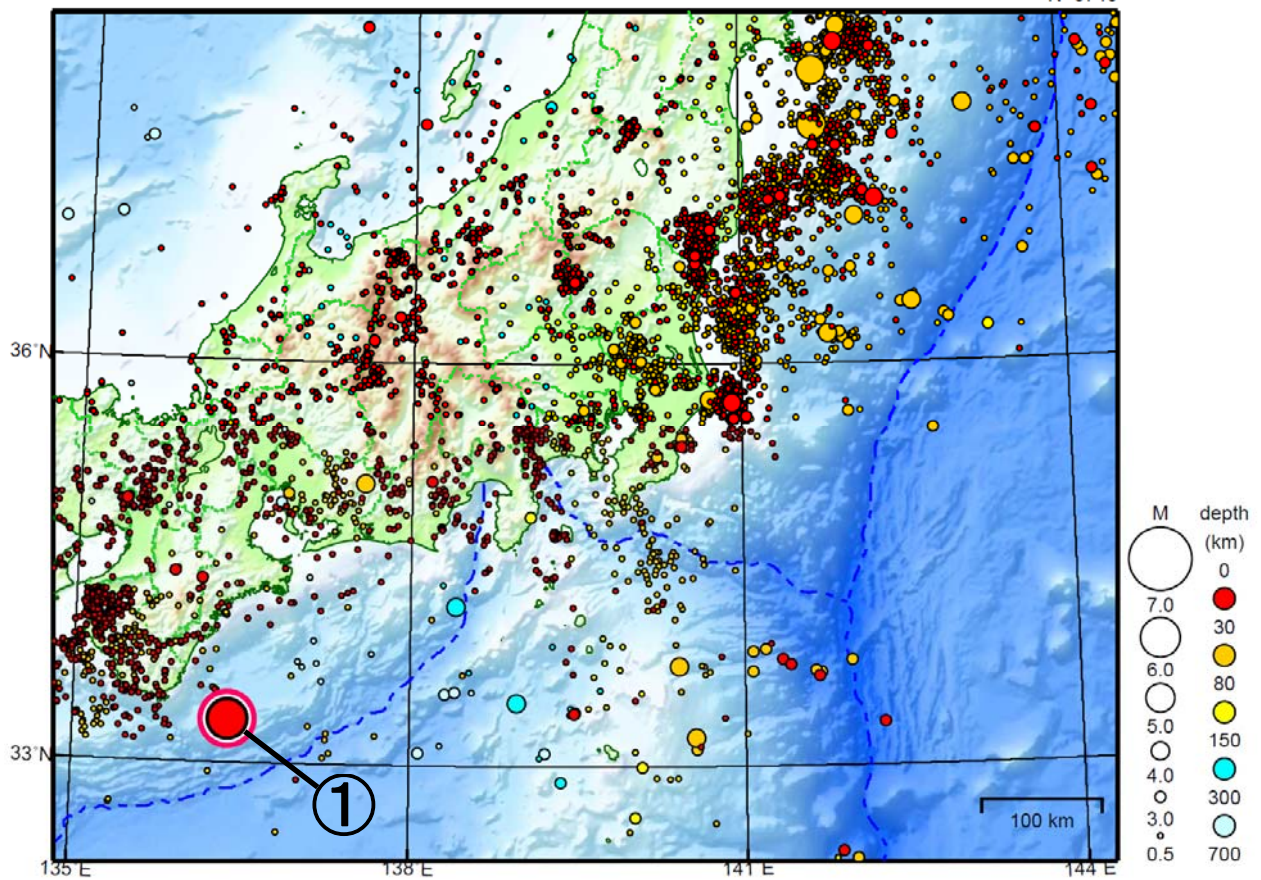


関東・中部地方

2016/04/01 00:00 ~ 2016/04/30 24:00

N=6746



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 4月1日に三重県南東沖でM6.5の地震（最大震度4）が発生した。

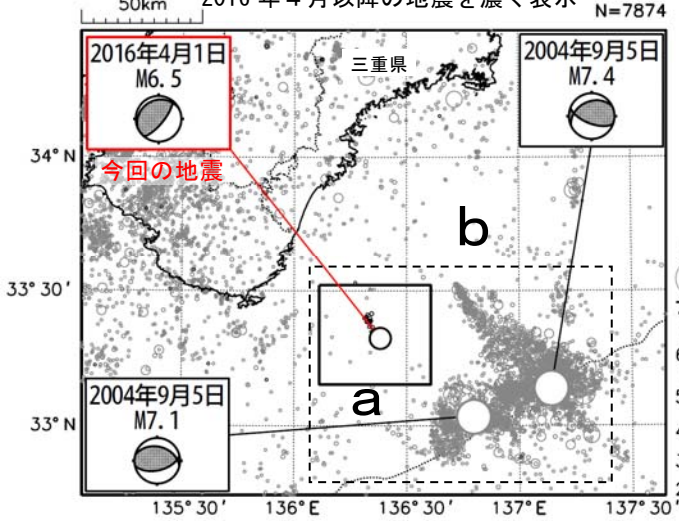
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

4月1日 三重県南東沖の地震

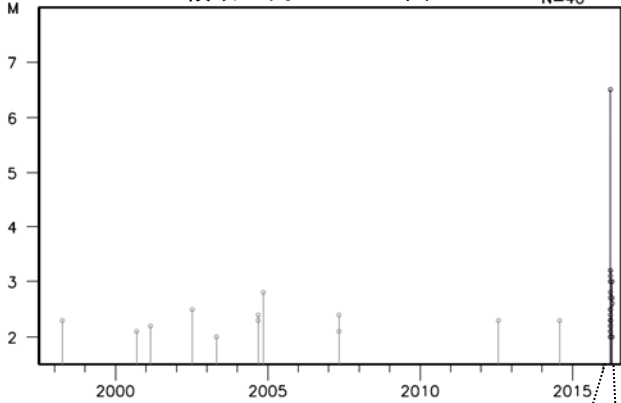
震央分布図

(1997年10月1日~2016年4月30日、
深さ0~80km、 $M \geq 2.0$)

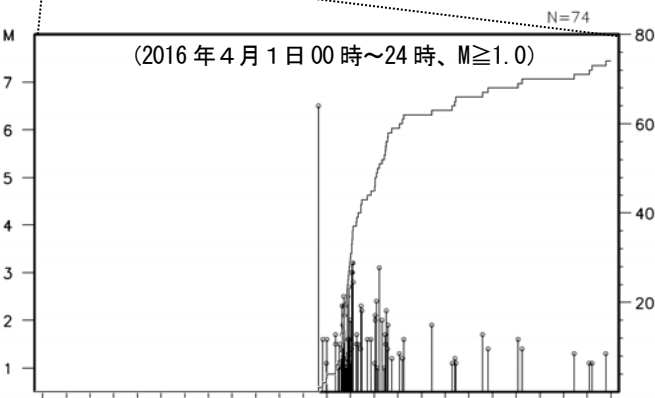
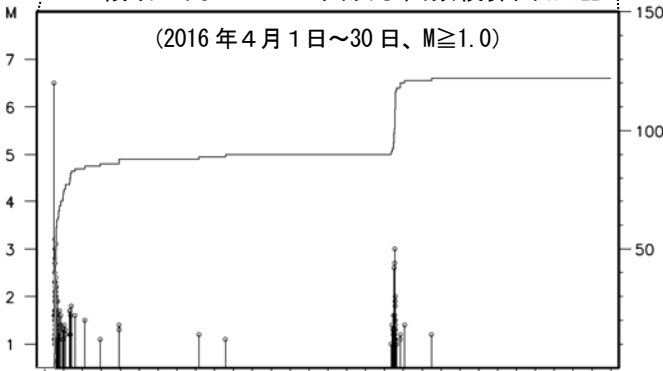
2016年4月以降の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



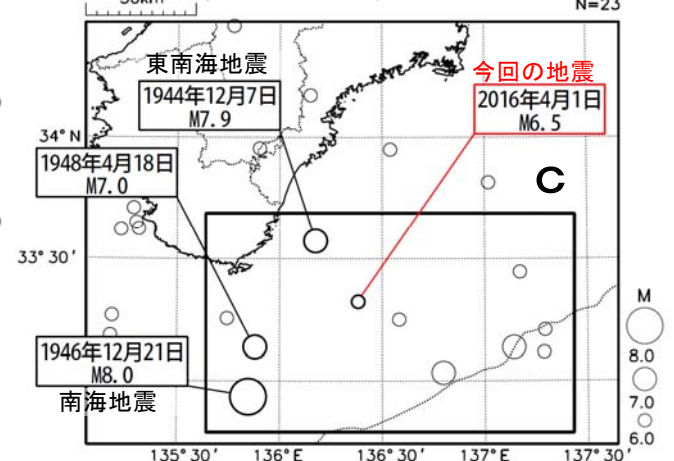
2016年4月1日11時39分に三重県南東沖でM6.5の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。震度1以上を観測する余震は発生していない。今回の地震発生直後は、規模の小さな余震がまとまって発生したが、次第に減衰した。4月19日に一時的にややまとまった活動が見られたが、その後まとまった活動にはなっていない。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)の地震活動は低調であり、M6.0以上の地震は初めてであった。今回の地震の震央周辺(領域b)では、2004年9月5日23時57分にM7.4の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震により、神津島神津島港で101cmの津波を観測するなど、東北地方から九州地方にかけて津波を観測した。また、同日19時07分にはM7.1の地震(最大震度5弱)が発生し、関東地方から四国地方にかけて津波を観測した。これらの地震により、負傷者42人などの被害が生じた。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、1944年12月7日にM7.9の地震(東南海地震)、1946年12月21日にM8.0の地震(南海地震)が発生している。

震央分布図

(1923年1月1日~2016年4月30日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)



領域 c 内の M-T 図

